

12 アンデスに眠る謎の空中都市

ペルー[南米]

マチュピチュ

インカ帝国の都市遺跡「マチュピチュ」は、多くの人が「人生で一度は行ってみたいところ」として憧れる、秘境スポットのひとつなのではないだろうか。アンデス山脈の奥深く、山の頂に突如としてドーンと現れるこの遺跡は、いまだ多くの謎に包まれたまま。リヤマやアルパカといった不思議生物がのんびりと草をはむ光景の中、歴史のロマンに思いを馳せながら、じっくりと時間をかけて見学したい。後方にそびえる「ワイナピチュ」登山が難儀だと感じる人は、ぜひマチュピチュ山に登るべし。頂上には七色のインカの旗がはためき、空中都市を神の視点から眺めるかのような気分を味わえる。観光後はふもとの村で温泉に浸かり、旅の疲れを癒そう。



このアングルから見るマチュピチュはパーフェクトな美しさ。順光で写真を撮りたいのなら午前中に行くべし



遠く山のかたから運ばれた水が、れた水路をいままなお流れている。緻密に計算さ



急な斜面にも、段々畑がびっしりと作られている。数千人がこの都市で自給自足で暮らしていた

アクセス方法

クスコから列車(途中までバスでも行ける)でアグアスカリエンテスへ。そこから専用バスで山を登る。またインカの時代に使われていた道を3泊4日ほどで歩くトレイルツアーもある。

遺跡

9 現代と古代が共存する不思議空間

ギリシャ[ヨーロッパ]

アクロポリス

近代都市と調和する形で、いまなお歴史の息吹を残し続けるアテネの古代遺跡。アクロポリスの丘に立つ「パルテノン神殿」は、そのシンボルとしてあまりにも有名だ。丘の上から街を見渡すと、随所に遺跡が散らばっているのがわかるだろう。どれも超一流の遺跡ばかりで、遺跡マニアならずとも大興奮間違いなし。「古代のアゴラ」を見た後は、アテネっ子の胃袋をまかなう「現代のアゴラ」と呼ばれる市場へもぜひ足を運ぼう。



アクセス方法 主要な遺跡はほとんどがアテネ市内にあるため、徒歩で見て回れる。地下鉄やバスも駆使するとよい。

10 大噴火によって消え去った夢の街

イタリア[ヨーロッパ]

ポンペイ

イタリア南部のポンペイ遺跡は、紀元前600年というはるか昔に建設された古代都市だ。区画整理された街並みは、大規模な商店街や公共施設などが当時の面影を伝える。古代ローマの時代には繁栄を極めたポンペイだが、ヴェスヴィオ火山の噴火によって壊滅。18世紀に発見されるまで、歴史から失われていたというからロマンを感じずにはいられない。遺跡の近くにあるヴェツェイの家のフレスコ画は「ポンペイの赤」として有名。



アクセス方法 ナポリ中心部から列車で30分程度。周辺も回りたいならヴェスヴィオ周遊鉄道が便利。

13 マヤ文明の神秘に触れる

メキシコ[中米]

チチェンイツァ

中米観光のハイライトがマヤ文明が残した遺跡の数々だ。規模の大きさでは、カリブ海のリゾート地「カンクン」にも近い「チチェンイツァ」がオススメ。ユカタン半島のジャングルの中、200年以上にもわたって栄えた遺跡で、その象徴とも言えるピラミッドはエジプトのような壮大さこそないものの、マヤの神秘を感じさせる造形美には心動かされるものがある。マヤの遺跡としてはほかに「パレンケ」や、グアテマラの「ティカル」も人気が高い。



アクセス方法 カンクンからメリダ行きのバスに乗って途中下車。メリダからもアクセス可能。

11 意外と都会にあってびっくり

エジプト[中東]

ギザのピラミッド

エジプトには多数のピラミッドが存在しているが、ピラミッドと聞いて誰もが思い描くであろう、あの3つの大ピラミッドがあるのは首都カイロ近郊のギザという街だ。実際行ってみると多くの人が驚かされるのが、街とピラミッドの距離の近さ。突如街がなくなったかと思うと、砂漠の入口に巨大な建造物がそびえ立っているのだ。ピラミッド内部の見学は人数制限があるため、中に入りたい人は早朝にチケット売場へ行くべし。



アクセス方法 カイロ市内からエアコンバスで訪れるのが安く便利。掃りのタクシーはボッてくるので要注意。

